

竹の台ふれあいまつりは、平成 15 年から開催が始まりました。

平成 22 年度までは、地域の諸団体が実行委員会を結成し実施していましたが、平成 23 年度「竹の台地域委員会」発足とともに「竹の台地域委員会」が主催しています。

従来の地域団体に加えて、住民有志が数多く参加していることにその特徴があり、ふれあいまつりでは、子どものコーナー、ステージ発表、模擬店、フリーマーケットに加えて、防犯や防災・青少年の育成などに関するブースを設け、楽しむだけの行事から問題共有の場へと新しい展開を目指しています。

資金は、自治会・管理回・管理組合や竹の台地域委員会を始めとするコミュニティ団体の寄付協賛を始め、企業の広告協賛、当日の売上でまかなっています。総額 140 万円です。

平成 20 年度から小学校の保護者、平成 21 年度からは、西神中学校部活単位の模擬店出店等若い世代の参画を得て、伝統のないニュータウンにおいて、地域に根付いたまつりとなっています。